

## 県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

市町名	裾野市		自由課題	
課題タイトル	「すその環境共育プロジェクト」を推進する効果的手法の研究・提案			

課題の概要(背景や理由等)	裾野市では、平成28年3月に第2次裾野市環境基本計画を策定し、その中の重点プロジェクトとして「環境共育」を掲げている。環境共育とは、市・市民・事業者等のみんなで、環境について「知る・考える」きっかけをつくり、環境保全に向けた取組みを「行動する・広げる」に繋げていくことである。そこで現在、プロジェクトとして推進する具体的課題かつ継続的な手法を検討している。また、実際に活動していく上で、環境市民団体の高齢化や環境リーダーの不足から活動ネットワークが希薄であるという問題点がある。
希望する調査研究内容や期待すること	・希望する調査研究内容 学生の柔軟な発想や専門的な見地をもとに、市や環境市民団体と協働しながら裾野市の環境に関する課題を抽出し、対応策を提案する。 ・期待すること 研究活動を通して環境市民団体の育成方法や環境市民ネットワーク構築手段も検討し、今後の活性化に繋げることを期待する。
情報収集や意見交換等で連携する団体等	環境市民会議団体
ゼミに対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等)	・会議室等、市の施設貸与 ・環境市民会議団体メンバーとの連携事業

既に協議や調整を行っているゼミがあり、そのゼミを希望する場合に記載してください。  
(ただし、そのゼミが助成対象として採択されるかはわかりません)

大学		学部等	
ゼミ(担当教員)		ゼミ連絡先 E-mail	

連絡先(課題内容を照会することがあります)

所属(課、係)	生活環境課 環境政策係
電話番号	055-995-1816
E-mail	<a href="mailto:kankyou@city.susono.shizuoka.jp">kankyou@city.susono.shizuoka.jp</a>
担当者	鳥澤 千絵

## 県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

市町名	三島市		自由課題
課題タイトル	高齢者の居場所づくりと学生ボランティア		

課題の概要(背景や理由等)	団塊の世代が75歳以上となる2025年(平成37年)に向けて、高齢者住み慣れた地域で最期まで暮らし続けることができるよう、地域の支えあい体制づくりを推進していくこととなるが、高齢者の引きこもりや孤独化、孤立化を防ぐためには地域やボランティア等が主体の、居場所となる通いの場を市内各所に設ける必要がある。
希望する調査研究内容や期待すること	モデル地区として選定した市内の高齢化率の高い地区、または校内等に一定期間通いの場を設け、高齢者との交流を図る中で、よりよい運営手段や設立方法、課題を発見し、今後通いの場の増設につなげていきたい。
情報収集や意見交換等で連携する団体等	既に通いの場を実践している団体等
ゼミに対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等)	既に通いの場を実践している団体等の紹介等

既に協議や調整を行っているゼミがあり、そのゼミを希望する場合に記載してください。  
(ただし、そのゼミが助成対象として採択されるかはわかりません)

大学		学部等	
ゼミ(担当教員)		ゼミ連絡先 E-mail	

連絡先(課題内容を照会することがあります)

所属(課、係)	長寿介護課 高齢者福祉係
電話番号	055-983-2609
E-mail	<a href="mailto:kaigo@city.mishima.shizuoka.jp">kaigo@city.mishima.shizuoka.jp</a>
27年度担当者	渡邊

## 県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

市町名	沼津市		自由課題
課題タイトル	SNSを活用した魅力あるまち 沼津を発信		
課題の概要(背景や理由等)	<p>情報技術の進歩により、パソコンやスマホ、タブレット等ネットワーク接続端末の多様化、多機能化が進んでいる。こうした中、最近では行政が市政情報や観光情報、災害等の情報を含めた生活関連情報などをツイッターやフェイスブック、ユーチューブ、インスタグラム等のSNSを活用して発信する動きが広がっている。沼津市では、広報戦略の1つとして市政情報の発信にSNSを活用しているが、さらなる利用拡大に向けたSNSの可能性、まちづくりや地域活性化、魅力発信への発展性を探っているところである。今後も多様化と利用率の向上が見込まれるSNSについて、幅広い世代に沼津のまちの魅力を伝えるための活用策を見出し、沼津市の魅力発信の拡散につなげたい。</p>		
希望する調査研究内容や期待すること	<p>先進事例の調査・分析 SNSを活用する上でのメリット・デメリットの情報分析、運用方針やリスク管理などのガイドライン策定 各世代ごとによく利用されているSNSについて調査・分析し、沼津の魅力発信に際し各世代に適したSNSの採用と手法の提案</p>		
情報収集や意見交換等で連携する団体等	沼津の地域情報、観光情報等の情報交換をしているSNS内でのグループ		
ゼミに対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等)	関係団体等への依頼・紹介、市役所内等各部署への依頼・調整、会議室の貸与、市政情報掲載内容提供、本調査研究のPR など		

既に協議や調整を行っているゼミがあり、そのゼミを希望する場合に記載してください。  
(ただし、そのゼミが助成対象として採択されるかはわかりません)

大学		学部等	
ゼミ(担当教員)		ゼミ連絡先 E-mail	

連絡先(課題内容を照会することがあります)

所属(課、係)	広報広聴課
電話番号	055-934-4703
E-mail	<a href="mailto:kouhou@city.numazu.lg.jp">kouhou@city.numazu.lg.jp</a>
担当者	川口 大二郎

## 県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

市町名	浜松市		自由課題	
課題タイトル	「浜松の強み」を発信する効果的なPRツールの提案			

課題の概要(背景や理由等)	本市の人口の現状分析によると、20歳代、30歳代の東京圏への転出者の割合が高い。当該年齢層の大都市圏との転出入をターゲットとして、社会移動の均衡を図るための方策を検討している。
希望する調査研究内容や期待すること	本市のターゲットと同年代の若い人材や高度な知識を有する地域の大学の協力により、UJターンを始めとした本市への転入者増に資する方策として、本市の住みやすさ・働きやすさを効果的に発信するPRツールを提案いただきたい。 ターゲット: 大都市圏に暮らす20～30歳代 PR方法: 印刷物、ホームページ、映像など
情報収集や意見交換等で連携する団体等	浜松市
ゼミに対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等)	市政情報に関するレクチャーや情報提供、関係機関への橋渡しなど、要望に応じて柔軟にサポートすることで、円滑に調査・研究が行われるよう支援する。

既に協議や調整を行っているゼミがあり、そのゼミを希望する場合に記載してください。  
(ただし、そのゼミが助成対象として採択されるかはわかりません)

大学		学部等	
ゼミ(担当教員)		ゼミ連絡先 E-mail	

連絡先(課題内容を照会することがあります)

所属(課、係)	企画調整部 企画課 総合計画・調整グループ
電話番号	053-457-2241
E-mail	<a href="mailto:kikaku@city.hamamatsu.shizuoka.jp">kikaku@city.hamamatsu.shizuoka.jp</a>
担当者	川西 亜紀子

## 県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

市町名	小山町		自由課題	
課題タイトル	地域特性を活かした道の駅オリジナル商品の企画開発			

課題の概要(背景や理由等)	「道の駅」は、安全で快適に道路を利用するための道路交通環境の提供、地域のにぎわい創出を目的とした施設であり、「地域とともに作る個性豊かなにぎわいの場」をコンセプトとしている。国道246号線にある道の駅「ふじおやま」においては、年間約60万人程が飲食や物産購入をしているが、小山町らしいオリジナル商材が不足しており、地域の魅力や個性を十分に伝えきれていない。
希望する調査研究内容や期待すること	小山町の魅力・特産物を活用したオリジナル商材の企画・開発及び情報発信ターゲット別の商材や展開方法等に関する考察
情報収集や意見交換等で連携する団体等	株式会社ふじおやま 農産物出荷組合みくりやの郷 小山町商工会 小山町観光協会
ゼミに対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等)	会議室の貸与・関連団体の紹介・施設の視察及び体験等

既に協議や調整を行っているゼミがあり、そのゼミを希望する場合に記載してください。  
(ただし、そのゼミが助成対象として採択されるかはわかりません)

大学		学部等	
ゼミ(担当教員)		ゼミ連絡先 E-mail	

連絡先(課題内容を照会することがあります)

所属(課、係)	道の駅ふじおやま
電話番号	0550-76-6660
E-mail	<a href="mailto:azami.fujioyama@gmail.com">azami.fujioyama@gmail.com</a>
担当者	駅長 渡邊理絵

## 県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

市町名	小山町		自由課題	
課題タイトル	日本一大学生に有名なまち”小山町”実現に向けた情報発信ネットワークづくり			

課題の概要(背景や理由等)	近年人口減少が著しく、特に若者の流出が目立っている。この状況を打開するための1つの施策として、首都圏在住の大学生に絞ったUターン促進に取組み、地元企業とのマッチングを行っている。その中で課題となっているのが、大学生に向けた情報発信チャンネルの不足である。小山町出身の大学生や、静岡県に興味がある、地方に興味がある大学生に対して、より効果的に情報発信ができれば、企業とのマッチングに留まらず、学生主催のイベント企画、合宿誘致、学生によるまちおこし等への発展が期待される。
希望する調査研究内容や期待すること	小山町と大学生を結ぶチャンネルづくりについての調査および具体的な施策の提案(できれば試験運用まで)で、費用を掛ければ解決するというものではなく、最低限の予算で実施でき、継続性のあるものを期待する。【調査】大学生同士の情報交換の方法、大学生が積極的に利用している情報媒体、大学生が関心を持っている事、他自治体等で取り組まれている大学生向け情報発信方法など。【施策】大学生向けチャンネルの具体案、その実現方法(費用感も含め)、試験運用の実施など。
情報収集や意見交換等で連携する団体等	小山町役場、小山町商工会、小山町観光協会、小山町社会福祉協議会、ハローワーク御殿場、静岡県社会福祉人材センター、静岡県くらし・環境部、町内各企業、過去委託事業等で関わりのある企業(広告代理店、雑誌社など)など。 情報収集には可能な限り協力させていただきます。
ゼミに対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等)	町内施設の無料開放(会議室など)、各企業・団体の紹介、過去事業の開示、試験運用に係る経費の一部負担(町で必要と判断した場合)など。

既に協議や調整を行っているゼミがあり、そのゼミを希望する場合に記載してください。  
(ただし、そのゼミが助成対象として採択されるかはわかりません)

大学		学部等	
ゼミ(担当教員)		ゼミ連絡先 E-mail	

連絡先(課題内容を照会することがあります)

所属(課、係)	企画総務部 おやまで暮らそう課
電話番号	0550-76-6137
E-mail	<a href="mailto:kuraso@fuji-oyama.jp">kuraso@fuji-oyama.jp</a>
担当者	山口 朋大